

# ASTRO-H後継機の概要(案)



- 打上スケジュール 2020年打上げ目標
- 機体規模 H2A打上げ
- 軌道 地球周回円軌道

- ミッション  
軟X線分光検出器(SXS)を中心とする。

- 設計  
早期かつ確実な設計・製造を目的とするため、再製作を基本としつつ、ASTRO-Hの対策を取り込む。

軟X線望遠鏡 (SXT-S)  
軟X線望遠鏡 (SXT-I)



可視光の望遠鏡のレンズに対応するX線望遠鏡。ただし可視光の場合とは違い、1000枚以上の反射鏡を用いて、同心円状に200層以上並べた構造をしています。口径は45cm、焦点距離は5.6 mです。

軟X線

軟X線分光検出器(SXS)



軟X線撮像検出器(SXI)

